

I キョクトウサソリ科の全種

【国内における確認状況】

- ・東京都本土で見つかったことはない。
- ・キョクトウサソリ科のマダラサソリが石垣島、西表島、
宮古島、与那国島、及び小笠原諸島に生息する。
- ・湾岸施設で輸入資材等の積荷に紛れ込んだサソリがしばしば確認されている。



Mesobuthus martensii (キョクトウサソリ科の一種)

【生態：生息地など】

- ・キョクトウサソリ科は 92 属 1049 種が報告され、
体長は 20mm～120mm以上と様々である。
- ・肉食で、昆虫やその他の小動物を捕食する。
- ・野外に生活するものと、家屋にしばしば侵入するものがあり、いずれも暗所を好み夜行性である。

【形態：大きさや特徴】

- ・歩脚は 4 対で体の前端には 1 対の強大なハサミがある。
- ・ハサミに毒や物を切る力はなく、小動物をとらえるのに役立つのみである。
- ・後腹部（尾部）に鉤状の毒針を持つ。

【原産地・分布】

- ・キョクトウサソリ科は南極とニュージーランドを除く熱帯から亜熱帯、温帯の一部に広く分布する。

健康被害の具体例

- ・局所症状のみをおこす種と、全身症状をおこす神経毒をもった種とがある。
- ・局所症状としては、刺された直後に鋭い灼熱感を伴う疼痛があり、次いで著明な腫脹がおこり、発赤もみられ、

変色や壊死を伴うことがある。

- ・疼痛は激烈であるが、致命的なことはほとんどなく、多くは数時間ないし数日で軽快する。
- ・全身症状としては、45分～12時間ぐらいの間に、流涎、流涙、全身発汗、悪心、嘔吐、発声および呼吸困難、
徐脈、排尿障害、腓障害を伴った腹部症状などが相次いで現われる。
- ・呼吸筋麻痺による窒息死をおこすことも少なくなく、特に5歳以下の乳幼児で致命率は25～60%に達するとされる。
- ・国内での死亡事例の報告はないが、海外ではサソリの毒やそのアレルギー性ショックで年間数百人が死亡している。

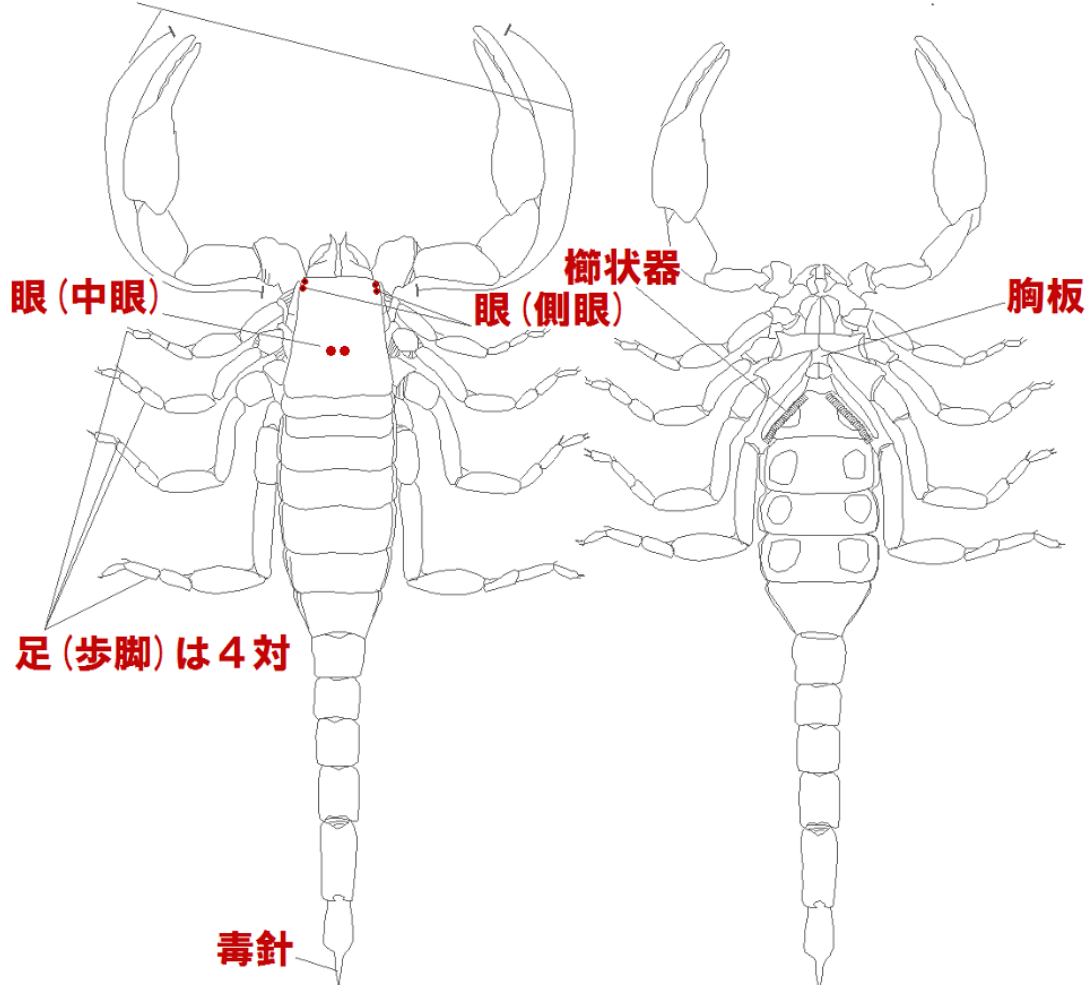
被害を受けた場合の対処法

- ・医療機関を受診

特徴・間違いやすい類似種との識別点

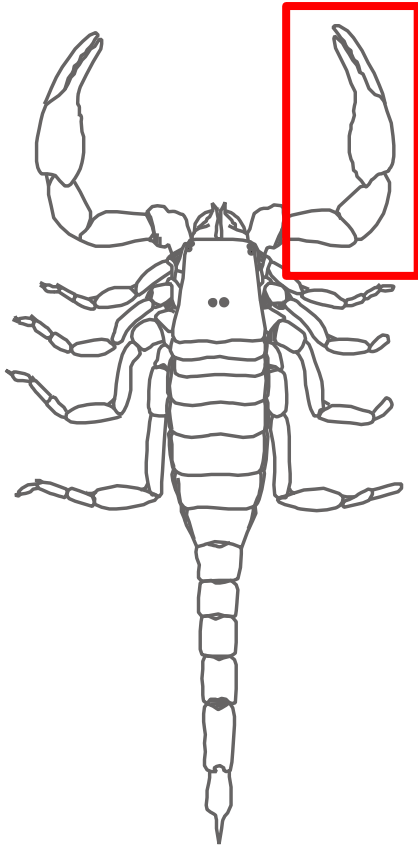
【サソリ類の特徴】

1対の強大なハサミ



【キョクトウサソリ科の特徴（1）】

＜触肢（ハサミ）＞



＜キョクトウサソリ科＞



ハサミは細く、表面は滑らか。

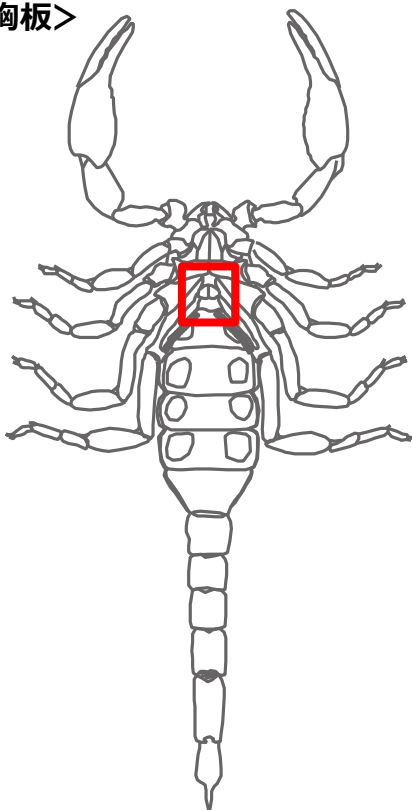
＜キョクトウサソリ科以外のサソリ類＞



ハサミは重量感があり、どっしりとしている。表面は時に滑らかではなく、ザラザラしている場合がある。

【キョクトウサソリ科の特徴（2）】

＜胸板＞

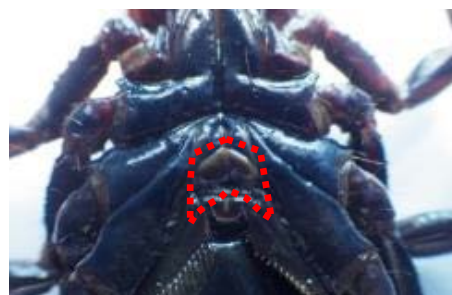


＜キョクトウサソリ科＞



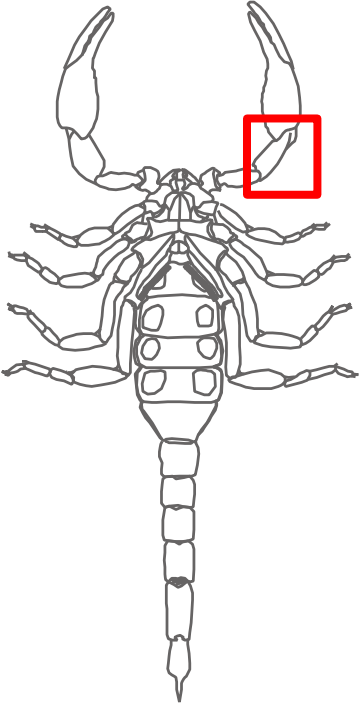


胸板が三角形に見える

＜キョクトウサソリ科以外のサソリ類＞



胸板が五角形に近く、横側辺は並行に近い

【キョクトウサソリ科の特徴（3）】

<p>しよくししつせつ ＜触肢膝節＞</p> 	<p>＜キョクトウサソリ科＞</p>  <p>触肢膝節の覆面には毛（聴毛）が見られない。</p>
<p>＜キョクトウサソリ科以外のサソリ類＞</p>  <p>触肢膝節の覆面には毛（聴毛）が見られる。</p>	

【キョクトウサソリ科以外のサソリ】



コガネサソリ科（チャグロサソリ *Heterometrus cyaneus*）

駆除方法

フェントロチオン、ダイアジノン、D D V P など有機リン系殺虫剤の散布が有効である。

船や倉庫では、青酸、ホルマリン、クロルピクリン、メチルプロマイド、二硫化炭素などによる燻蒸が必要である。

 [危険な外来生物 Web サイトへ](#)

この資料についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。
東京都環境局 自然環境部計画課 / TEL 03-5388-3548 FAX 03-5388-1379

[5]

このページの内容の一部は、Flicker 等が提供しているコンテンツを利用しており、クリエイティブ・コモンズの表示ライセンスに記載の条件に従って使用しています。

本サイト上の文書や画像等に関する諸権利は東京都に帰属します。本サイト上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。

Copyright©2016 Bureau of Environment.TMG. All Rights Reserved.